

は し が き

神奈川県では、県内の工業生産活動の動向を把握するため、「経済産業省生産動態統計調査」に加え、「神奈川県工業生産統計調査」及び関係機関などのデータを基に毎月、工業生産指数を作成し「神奈川県工業生産指数月報」として公表しております。

このたび、平成13年1年間の推移を年間補正及び季節指数の改定を行った上で「工業生産指数年報」として取りまとめました。

本書が、県経済の動向把握、産業・経済諸施策などの基礎資料として、関係各方面で広くご活用いただければ幸いです。

おわりに、本工業生産指数の作成にあたり、毎月貴重な資料のご提供とご協力をいただきました事業所と関係機関の皆様に、厚くお礼申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年9月

神奈川県企画部統計課長

山口 和美

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成13年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

なお、生産・出荷・在庫率指数は12か月を平均した指数、四半期別の指数は3か月を平均した指数であり、在庫指数は年末・期末の指数です。

3 その他

(1) 本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「〇年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」は「1～3月期（末）、4～6月期（末）、7～9月期（末）、10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「—」… 該当のないもの

「△」… マイナス（比較減）

「X」… 数値が秘匿されているもの

(2) 業種分類、採用品目数等

巻末の「神奈川県工業生産指数について」を参照してください。

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要

－生産、出荷は2年ぶりに低下－
－在庫は3年連続で低下－

(1) 生産の動向

神奈川県の平成13年の工業生産指数は91.6（原指数）で前年比7.6%低下し、2年ぶりの低下となりました。

業種別にみると、電気機械工業など12業種が前年より低下し、化学工業など4業種が上昇しました。

<全国及び局管内の動き>

全国及び関東経済産業局管内の製造工業の生産指数（原指数）をみると、全国の生産指数は96.9で前年比4.1%低下し3年ぶりの低下、関東経済産業局管内の生産指数は93.1で同7.7%低下し2年ぶりの低下となりました。

<四半期別推移>

（P2 図1、表1参照）

本県の動きを四半期別（季節調整済指数）にみると、1～3月期は前期比7.1%低下し2期ぶりの低下となり、4～6月期も同0.9%、7～9月期は同6.2%、10～12月期は同3.8%とそれぞれ低下しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数は93.2（原指数）で前年比6.7%低下し、2年ぶりの低下となりました。

業種別に見ると、電気機械工業など12業種が前年より低下し、化学工業など4業種が上昇しました。

<四半期別推移>

四半期別（季節調整済指数）にみると、1～3月期は前期比5.9%低下し2期ぶりの低下となり、4～6月期も同0.1%、7～9月期は同5.4%、10～12月期は同1.9%とそれぞれ低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数は88.1（原指数）で前年末比4.4%低下し、3年連続の低下となりました。

業種別にみると、電気機械工業など10業種が前年末より低下し、化学工業など6業種が上昇しました。

<四半期別推移>

四半期別（季節調整済指数）にみると、1～3月期は前期末比8.4%上昇し3期ぶりの上昇、4～6月期も同2.4%上昇しましたが、7～9月期は同5.1%低下し、10～12月期も同7.5%低下しました。

◎年間の動き

以上のように、生産・出荷指数（季節調整済指数）はすべての期で低下しました。前年同期比（原指数）は、生産、出荷ともすべての期で低下しました。

在庫指数（季節調整済指数）は1～3月期、4～6月期は上昇しましたが、7～9月期、10～12月期は低下しました。

全国の工業生産は低下傾向でありました。県内の工業生産も、主要業種である電気機械工業を中心に、平成12年の上昇傾向から転じて低下傾向で推移しました。

（P2 図1・表1、P5表3、P6表4参照）

図 1 製造工業指数の四半期別推移

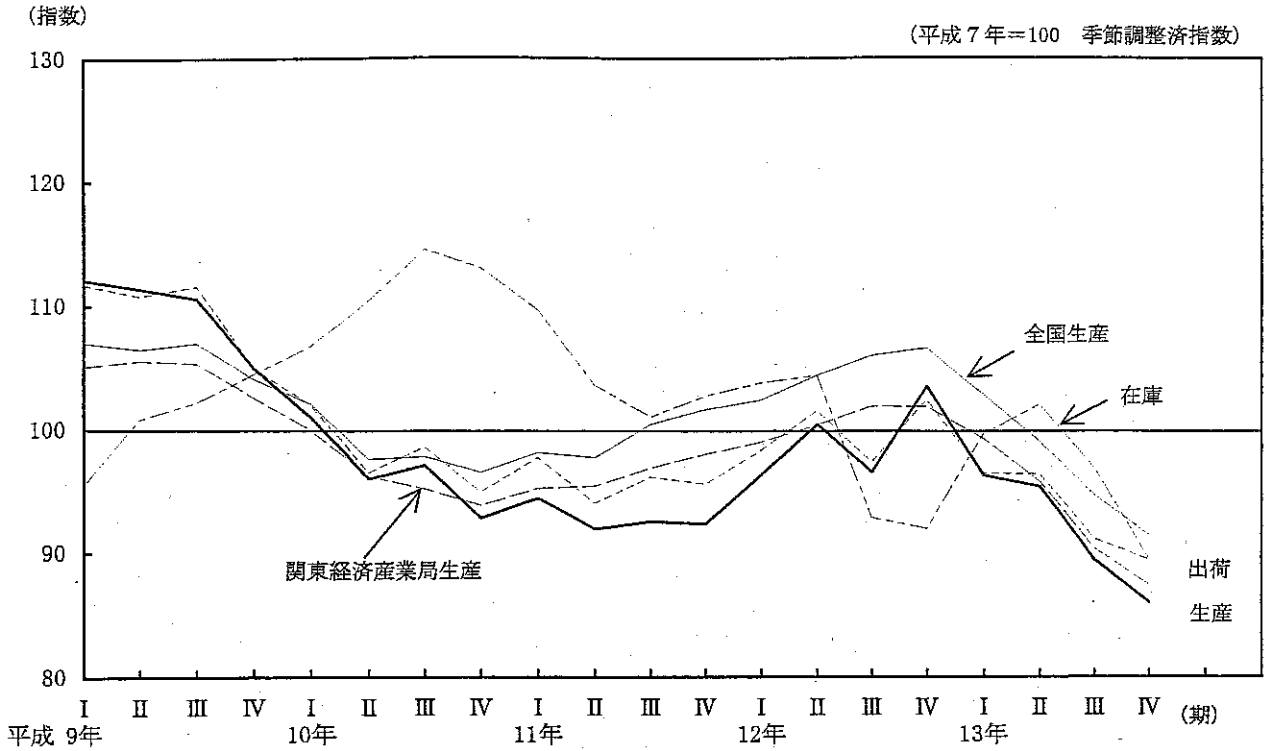


表 1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成7年=100)

		9年	10年	11年	12年	13年	13年			
							I	II	III	IV
神奈川県 生産	指数	109.7	96.8	92.8	99.1	91.6	96.2	95.3	89.4	86.0
	対前年(期)増減率%	4.9	△11.8	△4.1	6.8	△7.6	△7.1	△0.9	△6.2	△3.8
	対前年同期増減率%	—	—	—	—	—	△0.4	△4.2	△8.3	△17.1
出荷	指数	109.7	98.1	95.9	99.9	93.2	96.4	96.3	91.1	89.4
	対前年(期)増減率%	5.8	△10.6	△2.2	4.2	△6.7	△5.9	△0.1	△5.4	△1.9
	対前年同期増減率%	—	—	—	—	—	△2.3	△4.3	△7.4	△12.9
在庫	指数	105.5	113.3	103.5	92.2	88.1	99.6	102.0	96.8	89.5
	対前年(期)増減率%	3.7	7.4	△8.6	△10.9	△4.4	8.4	2.4	△5.1	△7.5
	対前年同期増減率%	—	—	—	—	—	△3.1	△0.9	2.6	△4.4
全 国 生 産	指数	106.0	98.5	99.2	105.0	96.9	102.8	99.0	94.6	91.4
	対前年(期)増減率%	3.6	△7.1	0.7	5.8	△4.1	△3.6	△3.7	△4.4	△3.4
	対前年同期増減率%	—	—	—	—	—	△1.0	△5.6	△10.8	△13.5
関東経済産業局管内 生産	指数	104.4	96.2	96.0	100.9	93.1	99.2	95.7	90.3	87.4
	対前年(期)増減率%	2.7	△7.9	△0.2	5.1	△7.7	△2.6	△3.5	△5.6	△3.2
	対前年同期増減率%	—	—	—	—	—	△1.2	△4.7	△11.5	△13.5

* 年指数(比)・前年同期比は原指数、四半期指数は季節調整済指数

※ 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

＜生産＞前年より低下したのは12業種で、低下に寄与した順では、パーソナルコンピュータやデジタル伝送装置などが減少した電気機械工業（前年比15.5%低下）、油圧機器などが減少した一般機械工業（同8.2%低下）などでした。

一方、上昇したのは4業種で、医薬品などが増加した化学工業（同1.7%上昇）などでした。

＜出荷＞前年より低下したのは12業種で、デジタル伝送装置やパーソナルコンピュータなどが減少した電気機械工業（前年比14.2%低下）、油圧機器などが減少した一般機械工業（同5.8%低下）などでした。

一方、上昇したのは4業種で、医薬品などが増加した化学工業（同0.4%上昇）などでした。

＜在庫＞前年末より低下したのは10業種で、モス型半導体集積回路（記憶素子）、トランジスタなどが減少した電気機械工業（前年末比18.0%低下）、普通乗用車などが減少した輸送機械工業（同32.9%低下）などでした。

一方、前年末より上昇したのは6業種で、カラーロールフィルムなどが増加した化学工業（同19.5%上昇）などでした。

(P3 図2、P4 表2、P5 表3 参照)

図2 生産指数増減率に対する業種別寄与度の推移

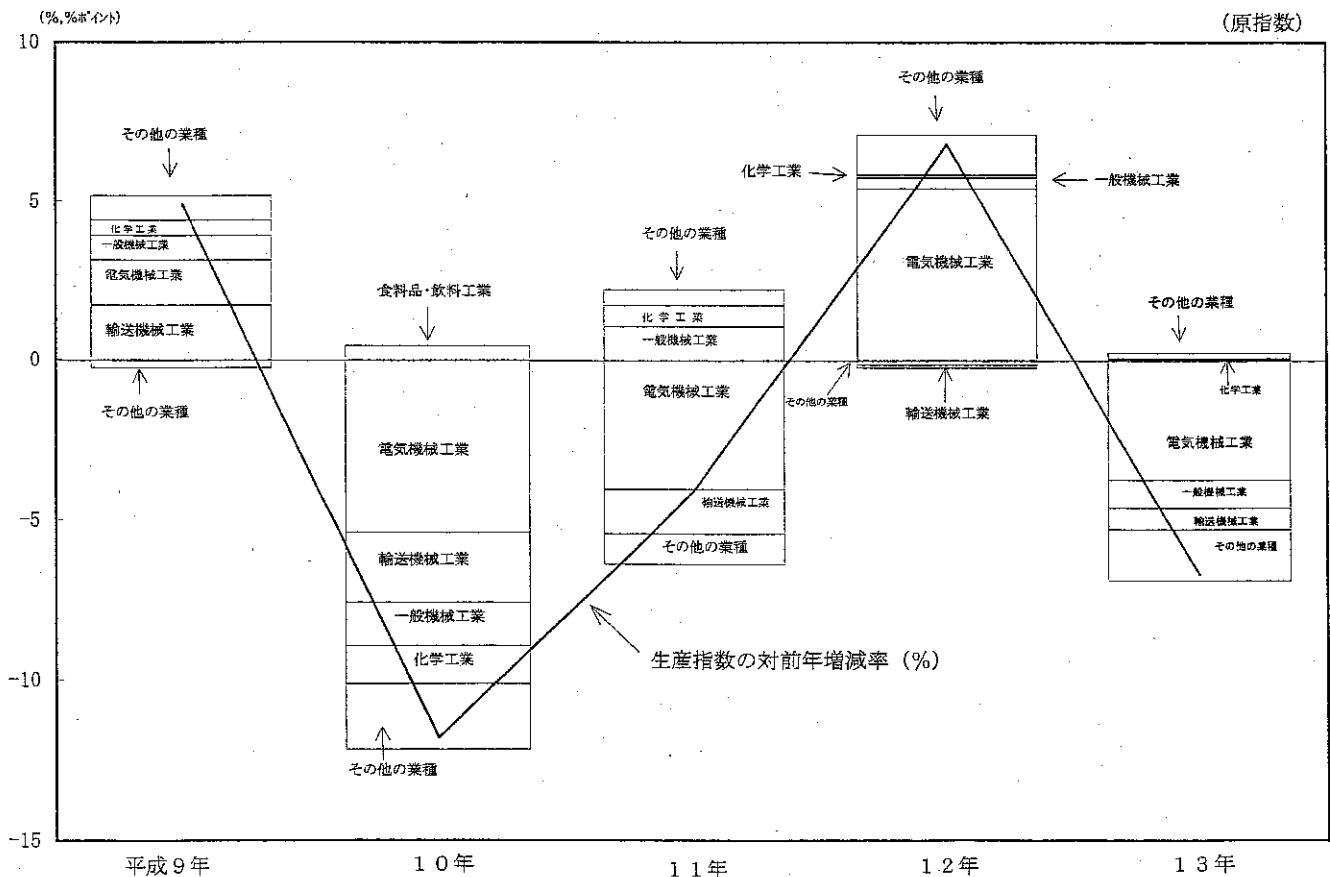


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 91.6 対前年増減率 Δ 7.6 % 上昇4業種、低下12業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	化学	1.7	0.25	増	医薬品、カラー印画紙など
				減	白黒フィルムなど
低	電気機械	Δ 15.5	Δ 4.96	増	固定通信装置、外部記憶装置など
				減	パーソナルコンピュータ、デジタル伝送装置など
	一般機械	Δ 8.2	Δ 1.13	増	機械プレス、一般用蒸気タービンなど
				減	油圧機器、軸受など
金属製品	Δ 17.4	Δ 0.77	増	橋りょうなど	
			減	アルミサッシなど	
下	輸送機械	Δ 4.2	Δ 0.52	増	小型乗用車など
				減	普通乗用車、普通トラックなど
	窯業・土石製品	Δ 9.3	Δ 0.18	増	生コンクリートなど
				減	板ガラスなど
プラスチック製品	Δ 7.3	Δ 0.17	増	発泡プラスチック製品など	
			減	プラスチック製容器など	

(2) 出荷 年指数 93.2 対前年増減率 Δ 6.7 % 上昇4業種、低下12業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	化学	0.4	0.04	増	医薬品など
				減	カラーロールフィルムなど
低	電気機械	Δ 14.2	Δ 3.75	増	固定通信装置、外部記憶装置など
				減	デジタル伝送装置、パーソナルコンピュータなど
	一般機械	Δ 5.8	Δ 0.88	増	一般用蒸気タービン、機械プレスなど
				減	油圧機器、はん用内燃機関など
金属製品	Δ 26.2	Δ 0.88	増	橋りょうなど	
			減	アルミサッシ、食缶など	
下	輸送機械	Δ 3.8	Δ 0.67	増	小型乗用車など
				減	普通乗用車、普通トラックなど
	石油・石炭製品	Δ 5.5	Δ 0.32	増	A重油など
				減	揮発油など
プラスチック製品	Δ 5.8	Δ 0.12	増	発泡プラスチック製品など	
			減	プラスチック製容器など	

(3) 在庫 年指数 88.1 対前年末増減率 Δ 4.4% 上昇6業種、低下10業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	化学	19.5	2.75	増	カラーロールフィルム、カラー印画紙など
				減	白黒フィルムなど
	食料品・飲料	32.1	1.31	増	果実酒、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)など
				減	清涼飲料(炭酸飲料除く)など
一般機械	4.7	0.82	増	軸受、数値制御放電加工機など	
			減	油圧機器、金銭登録機など	
低	電気機械	Δ 18.0	Δ 4.77	増	光電変換素子、鉛蓄電池など
				減	モス型半導体集積回路(記憶素子)、トランジスタ、アルカリ蓄電池など
	輸送機械	Δ 32.9	Δ 3.16	増	大型バスなど
				減	普通乗用車、普通トラックなど
金属製品	Δ 17.4	Δ 0.61	増	ガス機器など	
			減	食缶など	
石油・石炭製品	Δ 8.4	Δ 0.43	増	C重油など	
			減	軽油、A重油など	

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成7年=100 原指数)

業種	項目	生産				出荷				在庫				在庫率			
		10年	11年	12年	13年	10年	11年	12年	13年	10年	11年	12年	13年	10年	11年	12年	13年
製造工業	指数	96.8	92.8	99.1	91.6	98.1	95.9	99.9	93.2	113.3	103.5	92.2	88.1	128.5	119.8	106.2	125.8
	対前年増減率%	△ 11.8	△ 4.1	6.8	△ 7.6	△ 10.6	△ 2.2	4.2	△ 6.7	7.4	△ 8.6	△ 10.9	△ 4.4	24.4	△ 6.8	△ 11.4	18.5
鉄鋼業	指数	76.0	72.5	81.7	82.4	73.7	75.2	89.9	92.4	90.3	76.9	77.8	81.0	128.4	119.2	96.3	98.4
	対前年増減率%	△ 16.8	△ 4.6	12.7	0.9	△ 17.8	2.0	19.5	2.8	6.0	△ 14.8	1.2	4.1	25.8	△ 7.2	△ 19.2	2.2
非鉄金属工業	指数	93.9	110.5	152.0	160.9	95.1	108.4	145.5	151.5	98.8	96.0	86.9	83.8	124.0	124.7	117.3	135.0
	対前年増減率%	△ 23.0	17.7	37.6	5.9	△ 20.8	14.0	34.2	4.1	△ 12.3	△ 2.8	△ 9.5	△ 3.6	21.0	0.6	△ 5.9	15.1
金属製品工業	指数	84.3	77.5	75.5	62.4	83.6	80.8	76.2	56.2	84.6	93.5	74.2	61.3	105.1	97.2	104.8	88.1
	対前年増減率%	△ 9.0	△ 8.1	△ 2.6	△ 17.4	△ 9.6	△ 3.3	△ 5.7	△ 26.2	△ 2.1	10.5	△ 20.6	△ 17.4	1.4	△ 7.5	7.8	△ 15.9
一般機械工業	指数	100.6	108.9	111.5	102.4	108.3	126.3	129.1	121.6	151.5	170.0	152.6	159.8	156.1	178.9	153.6	168.3
	対前年増減率%	△ 10.7	8.3	2.4	△ 8.2	△ 8.1	16.6	2.2	△ 5.8	13.6	12.2	△ 10.2	4.7	35.2	14.6	△ 14.1	9.6
電気機械工業	指数	102.6	89.4	106.2	89.7	103.6	91.4	103.3	88.6	132.6	118.4	94.3	77.3	149.0	131.3	118.8	171.5
	対前年増減率%	△ 16.2	△ 12.9	18.8	△ 15.5	△ 14.9	△ 11.8	13.0	△ 14.2	24.2	△ 10.7	△ 20.4	△ 18.0	36.6	△ 11.9	△ 9.5	44.4
輸送機械工業	指数	87.7	79.1	78.5	75.2	89.0	81.1	79.6	76.6	120.0	74.1	59.6	40.0	128.8	108.9	70.0	64.6
	対前年増減率%	△ 14.9	△ 9.8	△ 0.8	△ 4.2	△ 14.1	△ 8.9	△ 1.8	△ 3.8	16.8	△ 38.3	△ 19.6	△ 32.9	54.1	△ 15.5	△ 35.7	△ 7.7
精密機械工業	指数	111.9	90.8	103.1	96.6	109.5	94.2	97.9	96.8	83.7	74.3	92.3	102.7	90.2	74.5	71.5	90.2
	対前年増減率%	△ 0.3	△ 18.9	13.5	△ 6.3	△ 9.8	△ 14.0	3.9	△ 1.1	7.2	△ 11.2	24.2	11.3	39.8	△ 17.4	△ 4.0	26.2
窯業・土石製品工業	指数	85.4	79.9	80.0	72.6	85.4	78.8	76.4	72.1	84.1	69.8	68.1	62.5	118.5	110.3	104.8	124.4
	対前年増減率%	△ 14.2	△ 6.4	0.1	△ 9.3	△ 13.8	△ 7.7	△ 3.0	△ 5.6	△ 7.8	△ 17.0	△ 2.4	△ 8.2	19.3	△ 6.9	△ 5.0	18.7
化学工業	指数	95.9	100.4	101.0	102.7	97.2	101.8	102.7	103.1	103.9	102.6	100.6	120.2	117.3	102.3	101.5	120.7
	対前年増減率%	△ 8.7	4.7	0.6	1.7	△ 7.5	4.7	0.9	0.4	△ 9.0	△ 1.3	△ 1.9	19.5	7.5	△ 12.8	△ 0.8	18.9
石油・石炭製品工業	指数	104.6	106.3	103.3	105.1	105.9	107.0	103.5	97.8	103.4	110.3	100.4	92.0	98.8	104.9	100.4	103.5
	対前年増減率%	△ 1.0	1.6	△ 2.8	1.7	△ 0.9	1.0	△ 3.3	△ 5.5	1.5	6.7	△ 9.0	△ 8.4	1.8	6.2	△ 4.3	3.1
プラスチック製品工業	指数	102.1	99.6	101.5	94.1	100.4	97.7	100.9	95.0	96.9	98.6	98.6	93.3	104.6	103.0	99.6	107.2
	対前年増減率%	△ 9.2	△ 2.4	1.9	△ 7.3	△ 8.9	△ 2.7	3.3	△ 5.8	△ 3.5	1.8	0.0	△ 5.4	13.8	△ 1.5	△ 3.3	7.6
紙・紙加工品工業	指数	93.0	93.2	94.9	87.5	87.0	87.0	86.5	81.3	96.6	82.1	110.9	93.3	159.6	114.9	130.8	150.0
	対前年増減率%	△ 5.7	0.2	1.8	△ 7.8	△ 7.8	0.0	△ 0.6	△ 6.0	20.9	△ 15.0	35.1	△ 15.9	54.7	△ 28.0	13.8	14.7
繊維工業	指数	62.5	62.4	62.1	60.6	65.8	68.9	68.6	68.7	70.5	95.8	91.5	59.4	170.3	194.2	208.5	167.3
	対前年増減率%	△ 18.1	△ 0.2	△ 0.5	△ 2.4	△ 21.9	4.7	△ 0.4	0.1	△ 13.4	35.9	△ 4.5	△ 35.1	30.9	14.0	7.4	△ 19.8
食品・飲料工業	指数	108.4	111.0	111.6	111.1	111.6	113.9	114.6	114.3	82.7	86.2	83.6	110.4	90.2	94.0	87.9	105.4
	対前年増減率%	5.8	2.4	0.5	△ 0.4	6.7	2.1	0.6	△ 0.3	△ 23.6	4.2	△ 3.0	32.1	△ 28.0	4.2	△ 6.5	19.9
その他工業	指数	85.0	85.3	89.3	82.7	87.4	87.3	90.1	82.3	79.7	66.1	75.6	84.1	91.3	83.4	81.9	107.8
	対前年増減率%	△ 14.5	0.4	4.7	△ 7.4	△ 15.0	△ 0.1	3.2	△ 8.7	△ 19.5	△ 17.1	14.4	11.2	△ 12.3	△ 8.7	△ 1.8	31.6
ゴム製品工業	指数	86.7	85.9	85.5	81.3	88.1	85.8	85.7	78.6	71.0	76.7	83.8	116.8	106.1	93.6	101.6	158.2
	対前年増減率%	△ 15.8	△ 0.9	△ 0.5	△ 4.9	△ 15.0	△ 2.6	△ 0.1	△ 8.3	△ 37.6	8.0	9.3	39.4	△ 7.7	△ 11.8	8.5	55.7
家具工業	指数	82.1	84.3	95.7	84.9	85.9	90.4	99.1	89.9	86.9	57.3	68.9	57.2	79.2	75.0	65.7	66.5
	対前年増減率%	△ 12.0	2.7	13.5	△ 11.3	△ 15.1	5.2	9.6	△ 9.3	△ 0.1	△ 34.1	20.2	△ 17.0	△ 16.9	△ 5.3	△ 12.4	1.2
公益事業	指数	123.7	126.2	126.0	126.3	105.3	105.9	108.6	108.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	6.1	2.0	△ 0.2	0.2	2.1	0.6	2.5	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
機械工業	指数	98.4	90.8	99.9	88.7	99.2	94.5	99.5	90.8	130.7	114.3	96.0	84.1	142.1	131.5	109.5	137.2
	対前年増減率%	△ 14.5	△ 7.7	10.0	△ 11.2	△ 13.2	△ 4.7	5.3	△ 8.7	19.1	△ 12.5	△ 16.0	△ 12.4	40.4	△ 7.5	△ 16.7	25.3

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)
*公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

表 4

平成13年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成7年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製造工業	指 数	96.2	95.3	89.4	86.0	96.4	96.3	91.1	89.4	99.6	102.0	96.8	89.5	115.6	130.5	132.1	125.9
	対前期増減率%	△ 7.1	△ 0.9	△ 6.2	△ 3.8	△ 5.9	△ 0.1	△ 5.4	△ 1.9	8.4	2.4	△ 5.1	△ 7.5	12.9	12.9	1.2	△ 4.7
鉄鋼業	指 数	83.3	80.9	83.9	81.4	94.5	90.7	93.2	91.1	81.4	83.5	85.3	85.1	93.4	97.4	99.1	103.9
	対前期増減率%	△ 2.8	△ 2.9	3.7	△ 3.0	2.4	△ 4.0	2.8	△ 2.3	0.6	2.6	2.2	△ 0.2	3.3	4.3	1.7	4.8
非鉄金属工業	指 数	165.8	176.5	171.7	127.7	154.5	167.3	161.6	121.4	89.2	85.9	85.3	83.3	137.5	126.7	139.6	136.5
	対前期増減率%	1.8	6.5	△ 2.7	△ 25.6	1.3	8.3	△ 3.4	△ 24.9	4.6	△ 3.7	△ 0.7	△ 2.3	24.3	△ 7.9	10.2	△ 2.2
金属製品工業	指 数	62.2	70.9	60.2	58.1	55.9	66.3	52.4	53.4	83.9	69.6	71.0	65.7	96.5	75.6	90.1	94.7
	対前期増減率%	△ 12.1	14.0	△ 15.1	△ 3.5	△ 16.8	18.6	△ 21.0	1.9	6.1	△ 17.0	2.0	△ 7.5	5.7	△ 21.7	19.2	5.1
一般機械工業	指 数	110.5	106.1	99.9	92.3	130.3	125.5	116.4	113.0	163.8	183.4	167.4	161.0	152.5	168.0	165.9	186.7
	対前期増減率%	△ 7.2	△ 4.0	△ 5.8	△ 7.6	△ 5.8	△ 3.7	△ 7.3	△ 2.9	8.9	12.0	△ 8.7	△ 3.8	0.5	10.2	△ 1.3	12.5
電気機械工業	指 数	101.2	97.5	85.0	76.4	98.0	94.0	84.7	78.7	115.0	105.7	96.9	82.6	148.9	187.1	190.8	160.8
	対前期増減率%	△ 12.5	△ 3.7	△ 12.8	△ 10.1	△ 10.4	△ 4.1	△ 9.9	△ 7.1	19.5	△ 8.1	△ 8.3	△ 14.8	31.3	25.7	2.0	△ 15.7
輸送機械工業	指 数	71.5	76.8	77.6	76.3	71.6	77.4	78.8	79.6	43.7	53.6	40.2	33.1	67.6	70.1	62.3	60.1
	対前期増減率%	△ 5.0	7.4	1.0	△ 1.7	△ 5.0	8.1	1.8	1.0	△ 7.8	22.7	△ 25.0	△ 17.7	12.3	3.7	△ 11.1	△ 3.5
精密機械工業	指 数	103.4	101.6	94.8	86.3	100.3	97.5	99.0	89.6	91.7	104.1	105.3	97.9	75.9	88.8	101.4	96.4
	対前期増減率%	2.8	△ 1.7	△ 6.7	△ 9.0	9.6	△ 2.8	1.5	△ 9.5	5.0	13.5	1.2	△ 7.0	△ 5.8	17.0	14.2	△ 4.9
窯業・土石製品工業	指 数	75.4	73.1	71.0	71.3	75.9	71.4	69.6	71.5	67.9	68.5	69.6	62.9	110.9	134.7	129.3	122.4
	対前期増減率%	△ 5.4	△ 3.1	△ 2.9	0.4	△ 1.6	△ 5.9	△ 2.5	2.7	△ 0.1	0.9	1.6	△ 9.6	0.7	21.5	△ 4.0	△ 5.3
化学工業	指 数	104.4	102.2	100.4	103.6	105.0	101.7	102.8	102.5	111.8	121.6	119.8	124.4	105.7	124.7	118.9	132.5
	対前期増減率%	0.6	△ 2.1	△ 1.8	3.2	0.8	△ 3.1	1.1	△ 0.3	7.1	8.8	△ 1.5	3.8	0.5	18.0	△ 4.7	11.4
石油・石炭製品工業	指 数	104.5	110.7	104.1	101.5	102.7	110.3	90.6	88.9	104.7	100.3	100.8	94.6	102.1	96.1	107.9	107.9
	対前期増減率%	△ 0.2	5.9	△ 6.0	△ 2.5	△ 0.2	7.4	△ 17.9	△ 1.9	2.8	△ 4.2	0.5	△ 6.2	2.7	△ 5.9	12.3	0.0
プラスチック製品工業	指 数	100.9	96.6	90.4	88.9	101.7	97.4	91.9	89.6	98.0	99.9	95.3	93.4	101.0	109.1	111.6	107.0
	対前期増減率%	△ 1.3	△ 4.3	△ 6.4	△ 1.7	0.3	△ 4.2	△ 5.6	△ 2.5	△ 1.4	1.9	△ 4.6	△ 2.0	3.7	8.0	2.3	△ 4.1
紙・紙加工品工業	指 数	91.6	86.4	84.5	87.7	84.4	79.3	81.8	79.6	135.9	127.7	96.0	108.2	161.3	175.5	132.6	128.8
	対前期増減率%	△ 4.5	△ 5.7	△ 2.2	3.8	△ 3.9	△ 6.0	3.2	△ 2.7	2.9	△ 6.0	△ 24.8	12.7	12.8	8.8	△ 24.4	△ 2.9
繊維工業	指 数	60.6	62.2	61.7	58.0	65.6	71.6	68.8	69.0	91.1	72.4	60.7	57.8	196.4	186.2	161.9	119.7
	対前期増減率%	1.0	2.6	△ 0.8	△ 6.0	△ 4.2	9.1	△ 3.9	0.3	3.5	△ 20.5	△ 16.2	△ 4.8	△ 11.7	△ 5.2	△ 13.1	△ 26.1
食料品・飲料工業	指 数	116.3	111.8	107.5	109.7	119.1	115.6	110.3	113.0	99.2	106.9	117.1	125.5	89.4	106.9	110.9	116.5
	対前期増減率%	3.0	△ 3.9	△ 3.8	2.0	1.4	△ 2.9	△ 4.6	2.4	5.0	7.8	9.5	7.2	2.3	19.6	3.7	5.0
その他工業	指 数	86.9	83.7	82.4	78.0	85.7	84.0	80.6	79.4	78.5	82.4	86.4	85.5	85.7	103.0	116.1	125.6
	対前期増減率%	△ 1.0	△ 3.7	△ 1.6	△ 5.3	△ 3.9	△ 2.0	△ 4.0	△ 1.5	4.2	5.0	4.9	△ 1.0	△ 1.7	20.2	12.7	8.2
ゴム製品工業	指 数	79.1	85.7	81.0	80.0	80.1	81.3	76.7	76.9	92.2	111.2	123.2	124.9	115.9	151.6	176.1	188.6
	対前期増減率%	△ 2.8	8.3	△ 5.5	△ 1.2	△ 2.9	1.5	△ 5.7	0.3	3.0	20.6	10.8	1.4	7.5	30.8	16.2	7.1
家具工業	指 数	97.4	81.7	84.6	75.8	96.1	89.1	91.0	84.2	66.9	58.5	56.2	53.8	58.5	61.6	69.3	77.1
	対前期増減率%	△ 0.6	△ 16.1	3.5	△ 10.4	△ 6.7	△ 7.3	2.1	△ 7.5	4.7	△ 12.6	△ 3.9	△ 4.3	△ 16.9	5.3	12.5	11.3
公益事業	指 数	126.4	126.3	127.6	124.7	110.5	107.3	107.8	108.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 3.2	△ 0.1	1.0	△ 2.3	0.4	△ 2.9	0.5	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-
機械工業	指 数	94.6	94.0	86.3	80.2	94.2	93.5	89.2	86.7	105.3	106.0	97.3	83.0	126.4	147.0	147.4	131.3
	対前期増減率%	△ 10.8	△ 0.6	△ 8.2	△ 7.1	△ 8.9	△ 0.7	△ 4.6	△ 2.8	13.5	0.7	△ 8.2	△ 14.7	22.8	16.3	0.3	△ 10.9

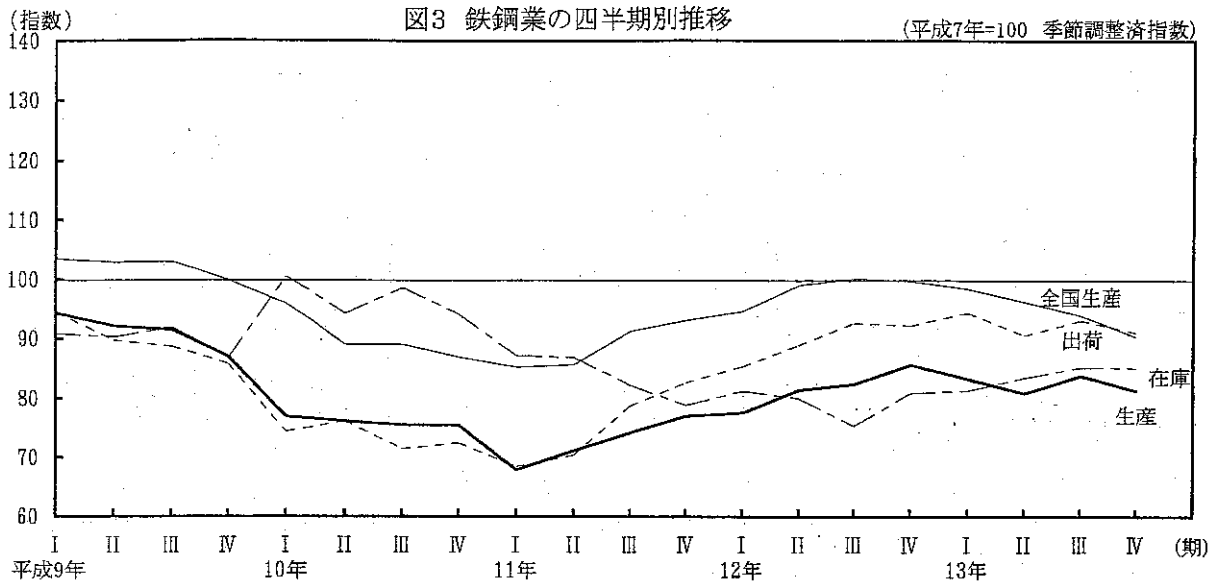
*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

2. 主要業種の動向

＜鉄鋼業＞

—生産は2年連続の上昇、出荷は3年連続の上昇—



(1) 生産

平成13年の鉄鋼業の生産指数は82.4(原指数)で前年比0.9%上昇し、2年連続の上昇となりました。四半期別(季節調整済指数)に見ると、7~9月期を除いて各期とも前期比で低下しました。品目別では、普通鋼鋼板などが増加し、普通鋼鋼帯などが減少しました。

また、全国の鉄鋼業の生産指数は94.7(原指数)で前年比4.1%低下し、2年ぶりの低下となりました。

(2) 出荷

出荷指数は92.4(原指数)で前年比2.8%上昇し、3年連続の上昇となりました。品目別では、普通鋼鋼板などが増加し、普通鋼鋼帯などが減少しました。

(3) 在庫

在庫指数は81.0(原指数)で前年末比4.1%上昇し、2年連続の上昇となりました。品目別では、普通鋼棒鋼などが増加し、普通鋼鋼帯などが減少しました。

表5 鉄鋼業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		12年		13年				上昇又は低下に寄与した品目
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	81.7	82.4	83.3	80.9	83.9	81.4	増 普通鋼鋼板、めっき鋼材など 減 普通鋼鋼帯など
	対前年(期)増減率%	12.7	0.9	△ 2.8	△ 2.9	3.7	△ 3.0	
出荷	指数	89.9	92.4	94.5	90.7	93.2	91.1	増 普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材など 減 普通鋼鋼帯など
	対前年(期)増減率%	19.5	2.8	2.4	△ 4.0	2.8	△ 2.3	
在庫	指数	77.8	81.0	81.4	83.5	85.3	85.1	増 普通鋼棒鋼、普通鋼鋼板など 減 普通鋼鋼帯など
	対前年(期)増減率%	1.2	4.1	0.6	2.6	2.2	△ 0.2	

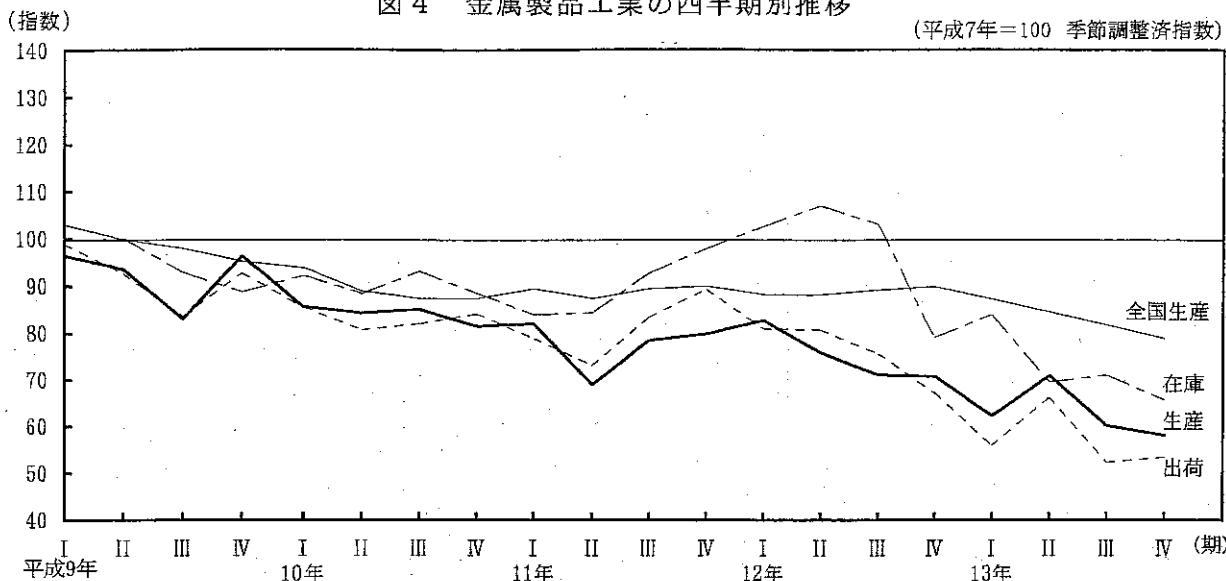
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

*品目順は寄与度順に列記

(P5表3、P6表4、P17~統計表参照)

<金属製品工業> -生産は6年連続の低下、出荷は4年連続の低下-

図4 金属製品工業の四半期別推移



(1) 生産

平成13年の金属製品工業の生産指数は62.4(原指数)で前年比17.4%低下し、6年連続の低下となりました。四半期別(季節調整済指数)に見ると、4~6月期を除いて各期とも前期比で低下しました。品目別では、アルミサッシなどが減少し、橋りょうなどが増加しました。

また、全国の金属製品工業の生産指数は83.1(原指数)で前年比6.6%低下し、2年ぶりの低下となりました。

(2) 出荷

出荷指数は56.2(原指数)で前年比26.2%低下し、4年連続の低下となりました。品目別では、アルミサッシなどが減少し、橋りょうなどが増加しました。

(3) 在庫

在庫指数は61.3(原指数)で前年末比17.4%低下し、2年連続の低下となりました。品目別では、食缶などが減少し、ガス機器などが増加しました。

表6 金属製品工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		12年		13年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	75.5	△ 2.6	62.4	62.2	70.9	60.2	58.1	増 橋りょうなど
	対前年(期)増減率%			△ 17.4	△ 12.1	14.0	△ 15.1	△ 3.5	減 アルミサッシ、一般缶など
出荷	指数	76.2	△ 5.7	56.2	55.9	66.3	52.4	53.4	増 橋りょうなど
	対前年(期)増減率%			△ 26.2	△ 16.8	18.6	△ 21.0	1.9	減 アルミサッシ、食缶など
在庫	指数	74.2	△ 20.6	61.3	83.9	69.6	71.0	65.7	増 ガス機器など
	対前年(期)増減率%			△ 17.4	6.1	△ 17.0	2.0	△ 7.5	減 食缶、一般缶など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

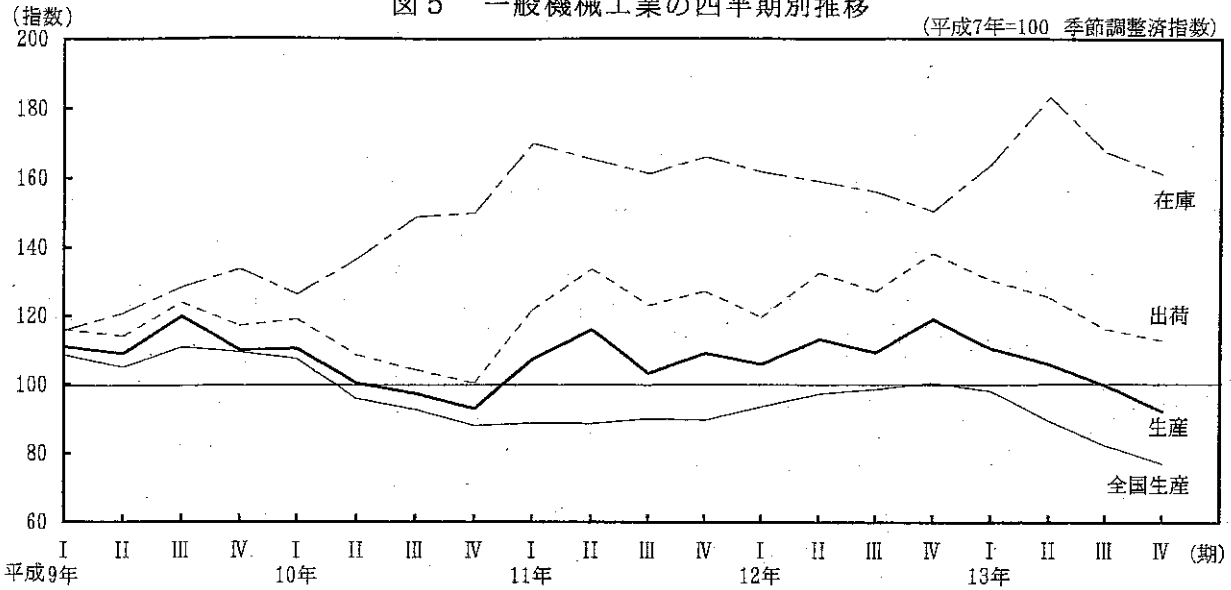
*品目順は寄与度順に列記

(P5表3、P6表4、P17~統計表参照)

<一般機械工業> -生産、出荷とも3年ぶりの低下-

図5 一般機械工業の四半期別推移

(平成7年=100 季節調整済指数)



(1) 生産

平成13年の一般機械工業の生産指数は102.4(原指数)で前年比8.2%低下し、3年ぶりの低下となりました。四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期比で低下しました。品目別では、油圧機器などが減少し、機械プレスなどが増加しました。

また、全国の一般機械工業の生産指数は86.9(原指数)で前年比11.1%低下し、2年ぶりの低下となりました。

(2) 出荷

出荷指数は121.6(原指数)で前年比5.8%低下し、3年ぶりの低下となりました。品目別では、油圧機器などが減少し、一般用蒸気タービンなどが増加しました。

(3) 在庫

在庫指数は159.8(原指数)で前年末比4.7%上昇し、2年ぶりの上昇となりました。品目別では、軸受などが増加し、油圧機器などが減少しました。

表7 一般機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		12年		13年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	増減率%	I	II	III	IV	増	減
生産	指数	111.5	△ 8.2	110.5	106.1	99.9	92.3	増	機械プレス、一般用蒸気タービンなど
	対前年(期)増減率%	2.4	△ 8.2	△ 7.2	△ 4.0	△ 5.8	△ 7.6	減	油圧機器、軸受、はん用内燃機関など
出荷	指数	129.1	△ 5.8	129.1	125.5	116.4	113.0	増	一般用蒸気タービン、機械プレスなど
	対前年(期)増減率%	2.2	△ 5.8	△ 5.8	△ 3.7	△ 7.3	△ 2.9	減	油圧機器、はん用内燃機関など
在庫	指数	152.6	4.7	152.6	163.8	183.4	167.4	増	軸受、数値制御放電加工機など
	対前年(期)増減率%	△ 10.2	4.7	8.9	12.0	△ 8.7	△ 3.8	減	油圧機器、金銭登録機など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

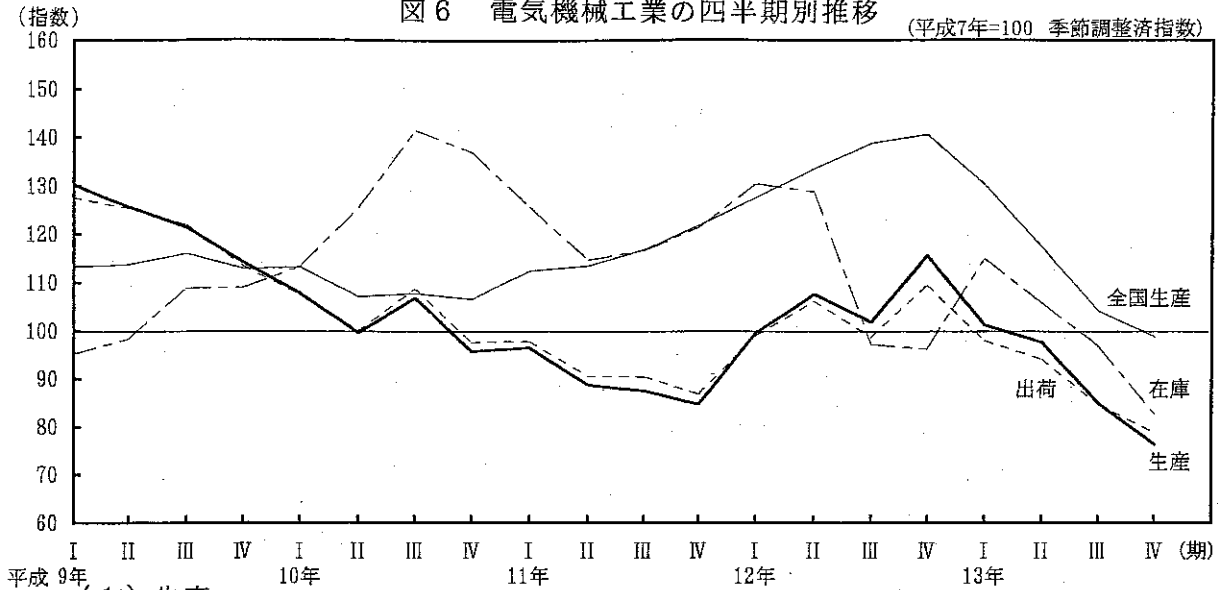
*品目順は寄与度順に列記

(P5表3、P6表4、P17~統計表参照)

＜電気機械工業＞ -生産、出荷とも2年ぶりの低下-

図6 電気機械工業の四半期別推移

(平成7年=100 季節調整済指数)



(1) 生産

平成13年の電気機械工業の生産指数は89.7(原指数)で前年比15.5%低下し、2年ぶりの低下となりました。四半期別(季節調整済指数)に見ると、各期とも前期比で低下しました。品目別では、パーソナルコンピュータ、デジタル伝送装置やモス型半導体集積回路(記憶素子)などが減少し、固定通信装置などが増加しました。

また、全国の電気機械工業の生産指数は112.5(原指数)で前年比16.9%低下し、3年ぶりの低下となりました。

(2) 出荷

出荷指数は88.6(原指数)で前年比14.2%低下し、2年ぶりの低下となりました。品目別では、デジタル伝送装置、パーソナルコンピュータや交換機などが減少し、固定通信装置などが増加しました。

(3) 在庫

在庫指数は77.3(原指数)で前年末比18.0%低下し、3年連続の低下となりました。品目別では、光電変換素子などが増加し、モス型半導体集積回路(記憶素子)などが減少しました。

表8 電気機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		12年		13年			
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV
生産	指数	106.2	△15.5	101.2	97.5	85.0	76.4
	対前年(期)増減率%	18.8	△15.5	△12.5	△3.7	△12.8	△10.1
出荷	指数	103.3	△14.2	98.0	94.0	84.7	78.7
	対前年(期)増減率%	13.0	△14.2	△10.4	△4.1	△9.9	△7.1
在庫	指数	94.3	△18.0	115.0	105.7	96.9	82.6
	対前年(期)増減率%	△20.4	△18.0	19.5	△8.1	△8.3	△14.8

		上昇又は低下に寄与した品目	
生産	増	固定通信装置、外部記憶装置など	
	減	パーソナルコンピュータ、デジタル伝送装置など	
出荷	増	固定通信装置、外部記憶装置など	
	減	デジタル伝送装置、パーソナルコンピュータなど	
在庫	増	光電変換素子など	
	減	MOS型半導体集積回路(記憶素子)など	

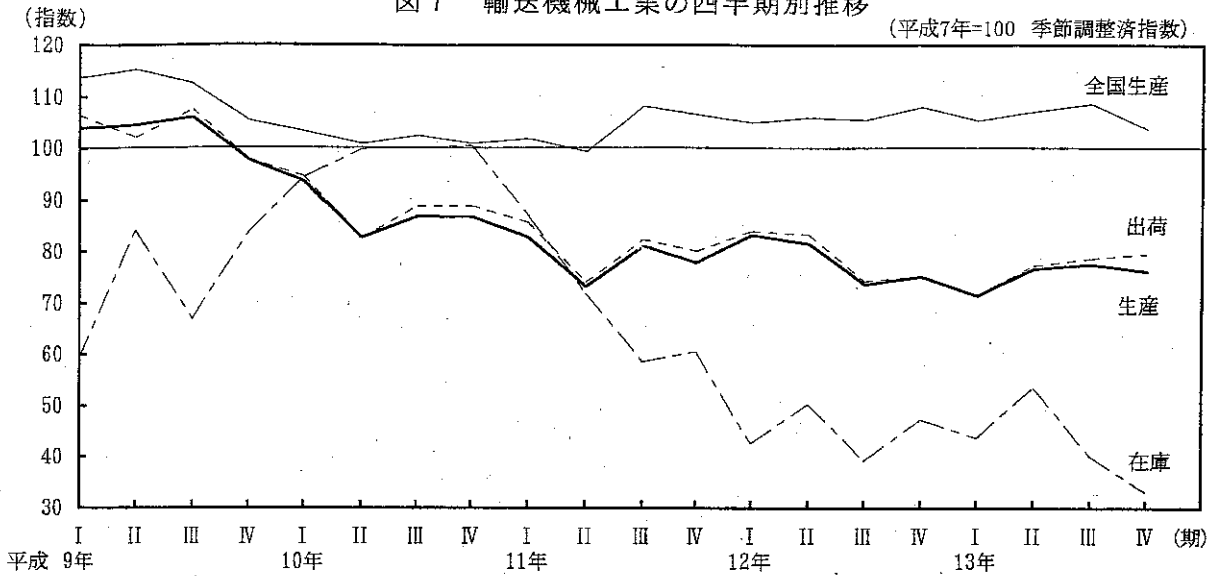
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

*品目順は寄与度順に列記

(P5表3、P6表4、P17~統計表参照)

< 輸送機械工業 > - 生産、出荷とも4年連続の低下 -

図7 輸送機械工業の四半期別推移



(1) 生産

平成13年の輸送機械工業の生産指数は75.2(原指数)で前年比4.2%低下し、4年連続の低下となりました。四半期別(季節調整済指数)に見ると、1~3月期は前期比で低下しましたが、4~6月期は上昇、7~9月期も上昇しましたが、10~12月期は再び低下しました。品目別では、普通乗用車などが減少し、小型乗用車などが増加しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数は106.2(原指数)で前年比0.1%低下し、3年ぶりの低下となりました。

(2) 出荷

出荷指数は76.6(原指数)で前年比3.8%低下し、4年連続の低下となりました。品目別では、普通乗用車などが減少し、小型乗用車などが増加しました。

(3) 在庫

在庫指数は40.0(原指数)で前年末比32.9%低下し、3年連続の低下となりました。品目別では、普通乗用車などが減少し、大型バスなどが増加しました。

表9 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		12年		13年				上昇又は低下に寄与した品目
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	78.5	75.2	71.5	76.8	77.6	76.3	増 小型乗用車など 減 普通乗用車、普通トラックなど
	対前年(期)増減率%	△0.8	△4.2	△5.0	7.4	1.0	△1.7	
出荷	指数	79.6	76.6	71.6	77.4	78.8	79.6	増 小型乗用車など 減 普通乗用車、普通トラックなど
	対前年(期)増減率%	△1.8	△3.8	△5.0	8.1	1.8	1.0	
在庫	指数	59.6	40.0	43.7	53.6	40.2	33.1	増 大型バスなど 減 普通乗用車、普通トラック、小型乗用車など
	対前年(期)増減率%	△19.6	△32.9	△7.8	22.7	△25.0	△17.7	

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

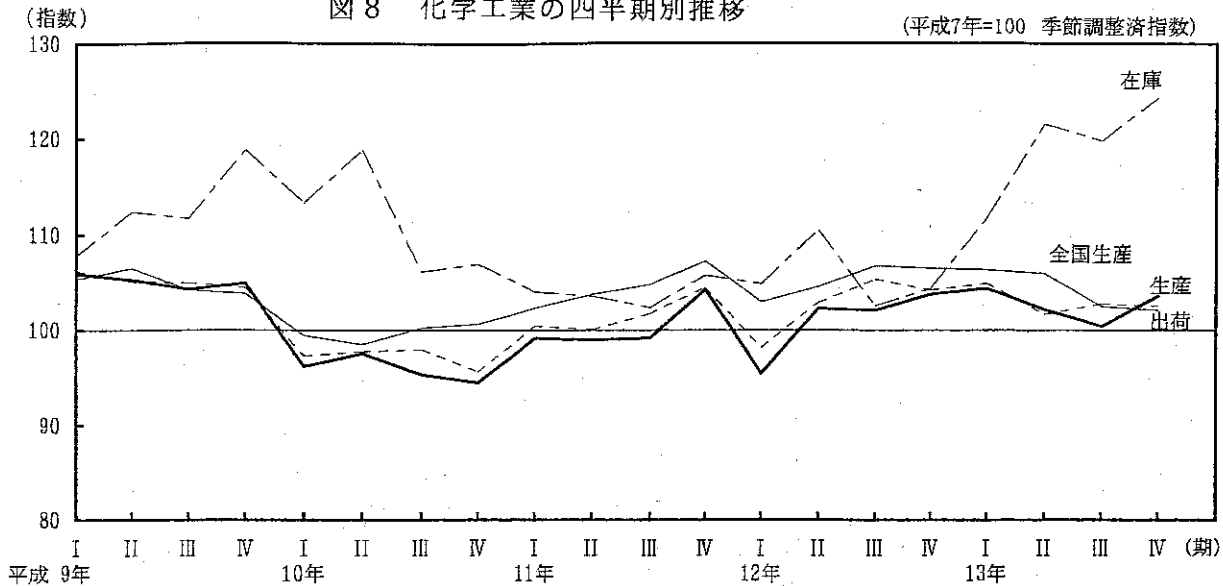
*品目順は寄与度順に列記

(P5表3、P6表4、P17~統計表参照)

<化学工業> -生産、出荷とも3年連続の上昇-

図8 化学工業の四半期別推移

(平成7年=100 季節調整済指数)



(1) 生産

平成13年の化学工業の生産指数は102.7(原指数)で前年比1.7%上昇し、3年連続の上昇となりました。四半期別(季節調整済指数)に見ると、1~3月期は前期比で上昇しましたが、4~6月期は低下し、7~9月期も低下しましたが、10~12月期は再び上昇しました。品目別では、医薬品などが増加し、白黒フィルムなどが減少しました。

また、全国の化学工業の生産指数は104.2(原指数)で前年比1.1%低下し、3年ぶりの低下となりました。

(2) 出荷

出荷指数は103.1(原指数)で前年比0.4%上昇し、3年連続の上昇となりました。品目別では、医薬品などが増加し、カラーロールフィルムなどが減少しました。

(3) 在庫

在庫指数は120.2(原指数)で前年末比19.5%上昇し、4年ぶりの上昇となりました。品目別では、カラーロールフィルムなどが増加し、白黒フィルムなどが減少しました。

表10 化学工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		12年	13年				上昇又は低下に寄与した品目	
			I	II	III	IV		
生産	指数	101.0	102.7	104.4	102.2	100.4	103.6	増 医薬品、カラー印画紙など 減 白黒フィルムなど
	対前年(期)増減率%	0.6	1.7	0.6	△2.1	△1.8	3.2	
出荷	指数	102.7	103.1	105.0	101.7	102.8	102.5	増 医薬品、カラー印画紙など 減 カラーロールフィルムなど
	対前年(期)増減率%	0.9	0.4	0.8	△3.1	1.1	△0.3	
在庫	指数	100.6	120.2	111.8	121.6	119.8	124.4	増 カラーロールフィルムなど 減 白黒フィルムなど
	対前年(期)増減率%	△1.9	19.5	7.1	8.8	△1.5	3.8	

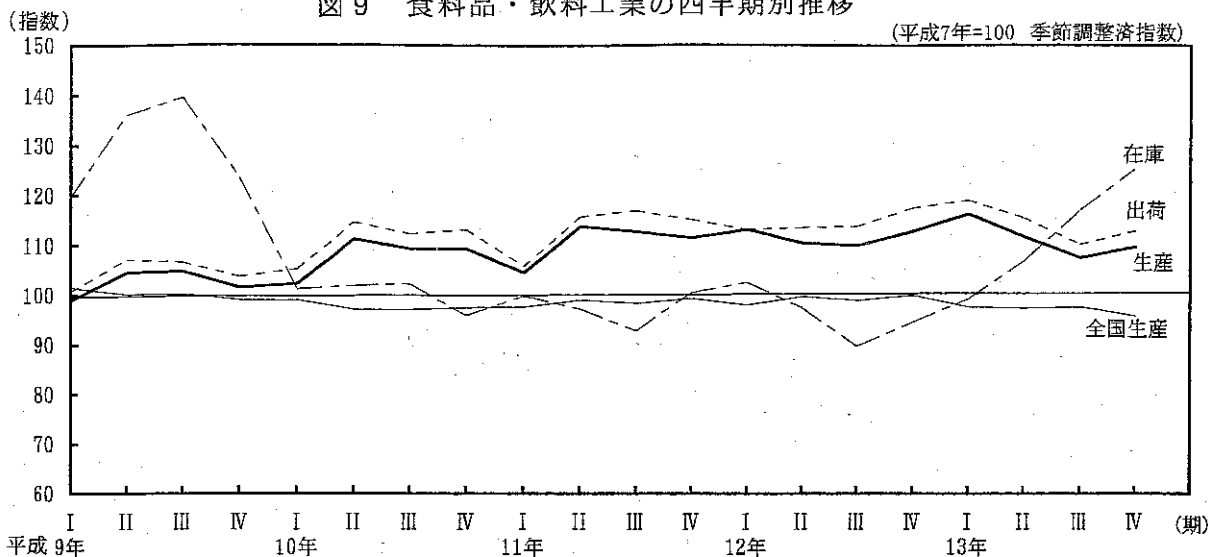
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

*品目順は寄与度順に列記

(P5表3、P6表4、P17~統計表参照)

<食料品・飲料工業> -生産は7年ぶりの低下、出荷は8年ぶりの低下-

図9 食料品・飲料工業の四半期別推移



(1) 生産

平成13年の食料品・飲料工業の生産指数は111.1(原指数)で前年比0.4%低下し、7年ぶりの低下となりました。四半期別(季節調整済指数)に見ると、1~3月期は前期比で上昇しましたが、4~6月期は低下、7~9月期も低下しましたが、10~12月期は再び上昇しました。品目別では、即席めん類などが減少し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数は97.1(原指数)で前年比2.3%低下し、3年ぶりの低下となりました。

(2) 出荷

出荷指数は114.3(原指数)で前年比0.3%低下し、8年ぶりの低下となりました。品目別では、ウイスキーなどが減少し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加しました。

(3) 在庫

在庫指数は110.4(原指数)で前年末比32.1%上昇し、2年ぶりの上昇となりました。品目別では、果実酒などが増加し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが減少しました。

表11 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移及び上昇・低下に寄与した主な品目

		12年		13年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	111.6	111.1	116.3	111.8	107.5	109.7	増 清涼飲料(炭酸飲料除く)など 減 即席めん類など	
	対前年(期)増減率%	0.5	△0.4	3.0	△3.9	△3.8	2.0		
出荷	指数	114.6	114.3	119.1	115.6	110.3	113.0	増 清涼飲料(炭酸飲料除く)など 減 ウイスキー、即席めん類など	
	対前年(期)増減率%	0.6	△0.3	1.4	△2.9	△4.6	2.4		
在庫	指数	83.6	110.4	99.2	106.9	117.1	125.5	増 果実酒、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)など 減 清涼飲料(炭酸飲料除く)など	
	対前年(期)増減率%	△3.0	32.1	5.0	7.8	9.5	7.2		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

*品目順は寄与度順に列記

(P5表3、P6表4、P17~統計表参照)

3 財別の出荷動向

－最終需要財、生産財とも2年ぶりの低下－

平成13年の出荷動向を特殊分類による財別で見ると、最終需要財出荷指数は96.9（原指数）で前年比4.0%低下し、2年ぶりの低下となりました。

また、生産財出荷指数は87.7（原指数）で前年比10.8%低下し、2年ぶりの低下となりました。これらの財を四半期別（季節調整済指数）に見ると、最終需要財は4～6月期を除いて各期とも前期比で低下し、生産財は各期とも前期比で低下しました。

(1) 最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数は103.5（原指数）で前年比2.5%低下しました。品目別では、デジタル伝送装置や交換機などが減少し、固定通信装置や外部記憶装置などが増加しました。建設財出荷指数は55.4（原指数）で前年比19.4%低下しました。品目別では、アルミサッシなどが減少し、橋りょうなどが増加しました。

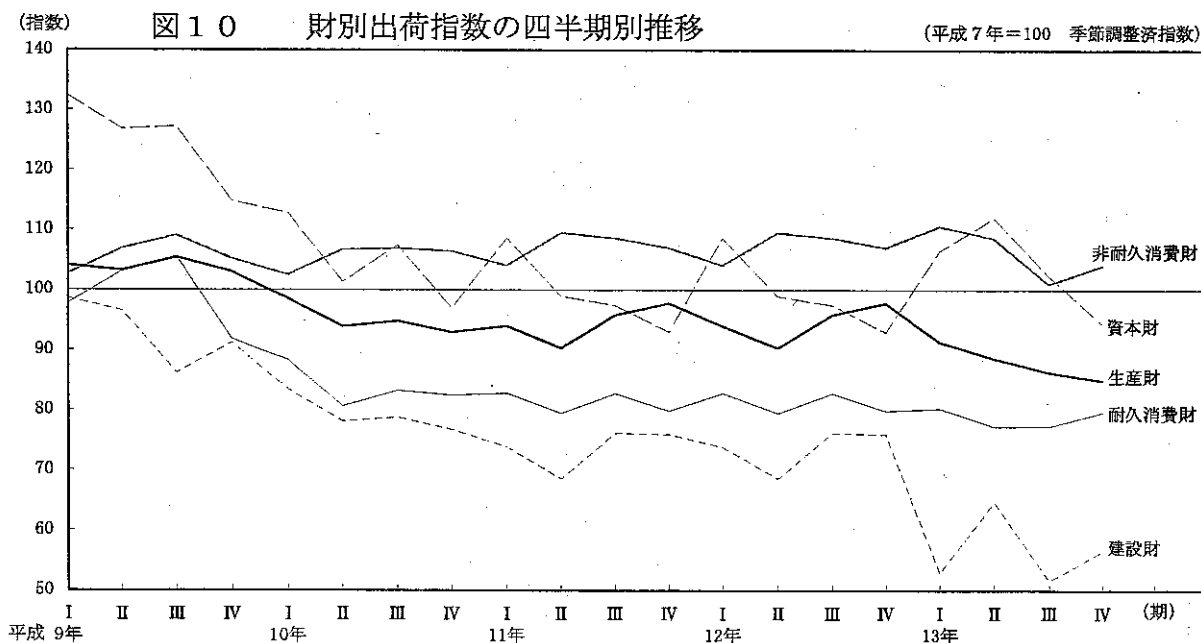
イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

耐久消費財出荷指数は78.5（原指数）で前年比10.5%低下しました。品目別では、普通乗用車などが減少し、小型乗用車などが増加しました。非耐久消費財出荷指数は105.9（原指数）で前年比0.9%低下しました。品目別では、揮発油などが減少し、医薬品などが増加しました。

(2) 生産財

品目別では、モス型半導体集積回路（論理素子）やモス型半導体集積回路（記憶素子）などが減少し、乗用車ボデーなどが増加しました。

（P15 表12、表13参照）



（特殊分類についてはP83、P85 表14参照）

表 1 2

財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成7年=100)

財	年・期	10年	11年	12年	13年	13年				
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	98.1	95.9	99.9	93.2	102.4	96.4	96.3	91.1	89.4
	対前年(期)増減率%	△ 10.6	△ 2.2	4.2	△ 6.7	5.2	△ 5.9	△ 0.1	△ 5.4	△ 1.9
最終需要財	指数	100.2	97.2	100.9	96.9	108.1	99.9	101.6	94.6	92.3
	対前年(期)増減率%	△ 11.9	△ 3.0	3.8	△ 4.0	10.9	△ 7.6	1.7	△ 6.9	△ 2.4
投資財	指数	102.1	96.7	101.6	97.7	111.8	100.0	106.0	96.2	90.0
	対前年(期)増減率%	△ 15.9	△ 5.3	5.1	△ 3.8	16.2	△ 10.6	6.0	△ 9.2	△ 6.4
資本財	指数	105.1	99.9	106.2	103.5	119.2	106.4	112.0	102.3	94.3
	対前年(期)増減率%	△ 16.0	△ 4.9	6.3	△ 2.5	18.7	△ 10.7	5.3	△ 8.7	△ 7.8
建設財	指数	80.2	73.3	68.7	55.4	61.2	52.9	64.7	51.6	56.5
	対前年(期)増減率%	△ 14.4	△ 8.6	△ 6.3	△ 19.4	△ 15.5	△ 13.6	22.3	△ 20.2	9.5
消費財	指数	97.7	97.9	99.9	95.9	102.6	99.8	97.3	93.0	94.0
	対前年(期)増減率%	△ 5.7	0.2	2.0	△ 4.0	3.4	△ 2.7	△ 2.5	△ 4.4	1.1
耐久消費財	指数	83.8	81.3	87.7	78.5	91.2	80.2	77.2	77.3	79.6
	対前年(期)増減率%	△ 15.7	△ 3.0	7.9	△ 10.5	7.3	△ 12.1	△ 3.7	0.1	3.0
非耐久消費財	指数	105.7	107.4	106.9	105.9	110.1	110.6	108.6	101.0	104.0
	対前年(期)増減率%	△ 0.3	1.6	△ 0.5	△ 0.9	2.9	0.5	△ 1.8	△ 7.0	3.0
生産財	指数	95.1	94.5	98.3	87.7	94.1	91.3	88.6	86.3	84.9
	対前年(期)増減率%	△ 8.5	△ 0.6	4.0	△ 10.8	△ 3.0	△ 3.0	△ 3.0	△ 2.6	△ 1.6

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 1 3

財別出荷指数の上昇・低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
低	生産財	△ 10.8	△ 4.32	増	乗用車ボデーなど
				減	モス型半導体集積回路(論理素子)など
	耐久消費財	△ 10.5	△ 0.86	増	小型乗用車、CDプレーヤなど
				減	普通乗用車、パーソナルコンピュータ、液晶テレビなど
資本財	△ 2.5	△ 0.80	増	固定通信装置、外部記憶装置など	
			減	デジタル伝送装置、交換機、普通トラックなど	
下	建設財	△ 19.4	△ 0.54	増	橋りょうなど
				減	アルミサッシなど
	非耐久消費財	△ 0.9	△ 0.16	増	医薬品など
				減	揮発油など